

4月上旬の高温の影響により、生態は平場から山手までそれほど差がなく、発芽日から展葉日まで確認されました。
【第1回目】展葉1週間後頃の薬剤散布は、4月18日・19日頃が中心となる予想となっています。
気象庁による1か月予報では、引き続き平均気温は高い予報となっておりますので、自園地をよく観察しながら作業を進めていきましょう。

1. ふじの生態 → 4月上、中旬の高温の影響により予想より生態が早く進んでいます

下記を参考にし、適期作業・適期散布に努めましょう。りんご研究所（黒石）の生態は、展葉日で平年と比較して7日早く、前年と比較すると8日遅い状況です。（ ）は現在の予想です。

区分	地域	年度	発芽日	展葉日	開花日
JA 生育観測圃	薬師堂	本年	4/5	4/11	(4/29)
	狼森	本年	4/6	4/12	(4/30)
	森山	本年	4/5	4/12	(4/30)
	駒木	本年	4/8	4/13	(5/1)
	碓ヶ関（古懸）	本年	4/7	4/12	(4/30)

ゆっくり
ていねい
降雨前散布！！



2. 薬剤散布 → 散布は4/18.19頃が中心となる予想となっています。

散布回数 散布時期	10a 当たり 散布量	4/18頃 散布スタート	基準薬剤	倍 数	1000L 当たり薬量
第1回目 展葉1週間後	300L	4/18	精製マシン油（乳） バリアード（顆粒水） ベフラン（液）	200倍 4000倍 1000倍	5L 1袋（250g） 2本（1000ml）
※ベフランは最後に調合しましょう。					
第2回目 開花直前	320L	4/28	カナメ（F） カスケード（乳） （弘前東支店管内） バイオマックス（DF） （大鰐支店管内）	4000倍 4000倍 2000倍	1本（250ml） 1本（250ml） 1袋（500g）
第3回目 落花直後	350L	5/8	ミギワ20（F） チオノック（F） カスケード（乳） （弘前東支店管内） バイオマックス（DF） （大鰐支店管内）	4000倍 500倍 4000倍 2000倍	2本（250ml） 1本（2L） 1本（250ml） 1袋（500g）

1. 発芽前マシン油50倍を散布した方は、展葉1週間後頃のマシン油は散布する必要ありません。（マシン油を散布しない場合は、展着剤が必要となりますのでご注意ください。）
2. 展葉初期から降雨があると黒星病に感染する恐れがあります。6月下旬までは散布間隔を守り、ゆっくりていねいに降雨前散布をしましょう。
3. 昨年、リンゴコカクモンハマキの発生が散見されました。越冬世代幼虫対策として、落花直後のカスケードは必ず散布しましょう。（大鰐支店管内ではミダレカクモンハマキに対してIGR剤抵抗性がある為、バイオマックスで対策しましょう。）また、ミダレカクモンハマキ対策として開花直前も同一散布で対策しましょう。
4. 散布ムラの無いようにしましょう（SSの速度・散布量の見直し、樹の混み具合を解消するなど）
5. 霧、朝露などで葉が濡れている場合は乾いてから散布しましょう。

3. 結実確保対策 → マメコバチとともに人手による授粉も組み合わせましょう！

マメコバチは結実確保の大きな助けとなりますが、16℃以下になると活動が低下することから、マメコバチとともに人手による授粉作業を積極的に実施し結実確保に努めましょう（めしべの受精能力は、開花後4～5日程度あります）。

◆低温に強い花粉も採取しましょう！◆

王林が最も授粉作業に使用されていますが、低温時に発芽しにくいことがわかってきました。低温でも発芽可能な品種の花粉も貯蔵花粉として採集し、開花期間中の低温に備えましょう！

花粉発芽可能温度	品 種
10℃	ふじ、はるか、世界一、シナノゴールド、金星
15℃	トキ、シナノスイート、紅玉、きおう、つがる
20℃	王林、千雪、未希ライフ、恋空、メイポール

◆開薬所やってますよ！◆

青年部千年第一支部では4月24日から5月中旬頃まで開薬所を開設していますので、ぜひご利用ください！

場 所	JAつがる弘前千年第一冷蔵庫
開設期間	4月24日～5月中旬頃まで
受付時間	午後7時～8時まで

※開始・終了時期は管内の生態によって前後する可能性があります。